

[直売用切り花の冬季生産技術の確立]
加温施設を利用した数種の切花促成栽培

和泉吉隆
(生産技術科)

【要 約】加温・電照施設を利用した直売切花栽培で、カンパニュラ「メイ」・「涼姫」、ホワイトレースフラワーは5℃以上の加温と深夜4時間の暗期中断で開花が促進され、ベニジュームは加温で収穫可能である。

【目 的】

春彼岸用直売切花の品目拡大のため、加温・電照施設を利用した促成栽培を検討する。

【方 法】

1) カンパニュラ・メジューム「メイ ブルー」

288セルトレーへ7月11日に播種し、8月7日3号ポリポットに鉢上げ後戸外管理して、1月23日夜温5・8・10・15℃に設定した室内へ搬入し、午後10時～翌朝2時まで暗期中断した区と無処理区で生育・開花状況を試験した。

2) カンパニュラ「涼姫」

ペレット種子を406セルトレーへ7月11日播種し、室内育苗後10月31日から戸外管理して、12月27日6号プラ鉢へ最終鉢上げした。試験開始日、温度・暗期中断処理はカ・メジュームと同様に設定した。

3) ホワイトレースフラワー

9月11日、288セルトレーに播種後10月5日3号ポリポット鉢上げ、5号プラ鉢植えて戸外育苗、1月24日6号鉢替え入室し、露地を除いた前記設定区で試験した。

4) ベニジューム

10月9日に288セルトレーへ播種し、夜温10℃で11月5日3号ポット鉢上げ、12月11日5号プラ鉢に鉢替えした。一部を12月13日に8℃室内へ移動し、さらに一部を1月15日5℃室内へ移動した。光中断は行わなかった。

【成果の概要】

1) カンパニュラ「メイ ブルー」(表1・図1)。

開花始めは暗期中断して夜温が高いほど早く、15℃・暗期中断で約2週間早くなった。切花側枝本数は低夜温で暗期中断しない方が多くなった。主茎長は明確な差は無かった。

2) カンパニュラ「涼姫」(表2・図2)。

15℃では花芽確認・開花始め共に暗期中断による促進効果は見られなかったが、夜温が低くなると暗期中断によって開花が早くなった。草丈は、夜温が高いと低くなった。

3) ホワイトレースフラワー(表3・図3)。

この品目は耐寒性が低いので、露地区を除いた。暗期中断で夜温が高いほど早く開花する傾向が見られたが、5℃より8℃で開花が遅れた。草丈、切花側枝数では明らかな差はなかった。

4) ベニジューム

半耐寒性草花で、室内栽培した。夜温が高いと早く開花するが、夜温5℃でも次々に開花・収穫が可能だった。(データ省略)

表1 カンパニュラ・メジューム「メイブルー」

	主茎長 cm	切花側枝数 本	花芽確認	開花始め
暗期中断区	5℃	102.6	14.4	3月17日 4月12日
	8℃	101.6	14.2	3月12日 4月12日
	10℃	75.8	13.2	3月5日 3月28日
	15℃	87.8	8.6	2月20日 3月12日
無処理区	5℃	92.5	18.8	4月21日 5月6日
	8℃	87.6	12.3	4月17日 5月2日
	10℃	92.0	11.8	3月12日 4月1日
	15℃	90.5	10.5	3月12日 3月25日
露地	88.4	29.4	5月8日 5月20日	

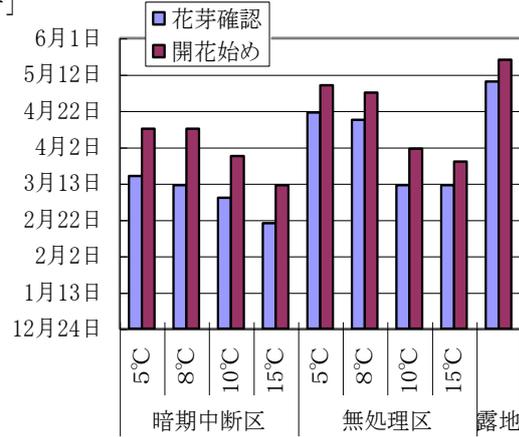


図1 カンパニュラ「メイブルー」の開花

表2 カンパニュラ「涼姫」

	草丈 cm	側枝数 本	節数 節	花芽確認	開花始め
暗期中断区	5℃	108.0	10.5	3月21日	4月9日
	8℃	104.0	9.5	3月5日	3月21日
	10℃	90.7	10.0	2月25日	3月5日
	15℃	76.3	6.8	2月18日	3月5日
無処理区	5℃	121.5	9.0	4月9日	4月19日
	8℃	104.8	10.5	3月17日	4月21日
	10℃	100.4	11.6	2月28日	3月21日
	15℃	74.4	4.5	2月22日	3月5日
露地	86.8	15.0	46.9	5月3日	6月7日

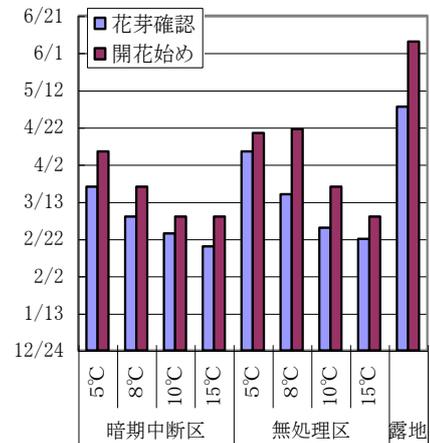


図2 カンパニュラ「涼姫」の開花

表3 ホワイトレース フラワー

	草丈 cm	側枝数 本	花芽確認	開花始め
暗期中断区	5℃	171.2	10.3	3月13日 4月9日
	8℃	175.5	12.8	3月17日 4月12日
	10℃	205.8	11.0	2月27日 3月27日
	15℃	178.0	10.5	2月27日 3月17日
無処理区	5℃	189.0	15.0	3月21日 4月25日
	8℃	240.0	13.7	4月1日 4月29日
	10℃	224.7	13.3	3月17日 4月7日
	15℃	234.3	14.7	3月9日 3月29日

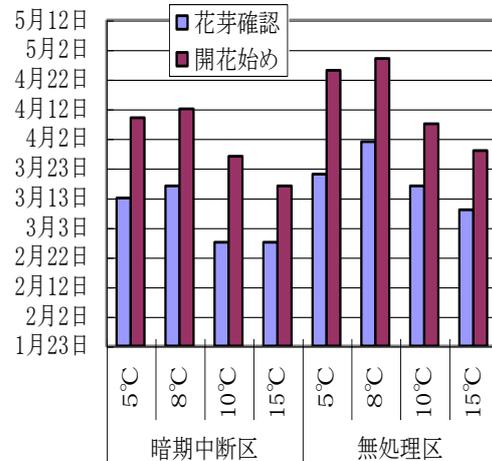


図3 ホワイトレースフラワーの開花